

2005年12月1日

公共・自治体向け電子入札 ASP サービスを販売開始

電子入札を短期間・低コストで開始できるサービスを提供

株式会社日立情報システムズ（執行役社長：堀越 彌、本社：東京都品川区）は、電子入札未導入の県・市町村・独立行政法人等に向け、電子入札を短期間・低コストで導入できる「電子入札 ASP サービス」を本日より販売開始いたします。

現在、電子入札システムは、e-Japan戦略に対応して順次、中央官庁や都道府県が独自に導入（開発・運用）していますが、市町村・独立行政法人・一部の県では、「入札案件数が少ない」、「システム運用要員を配置できない」などの理由から電子入札システムの自己導入が見送られており、共同利用型のASPサービスを要望する声が高まっております。

これまで当社では、官公庁・自治体向け建設情報化ソリューション「e-CYDEEN」の一環として、電子入札システムを県や自治体等に多く導入し、その開発・運用実績は国内トップクラスです。今回販売開始する「電子入札ASPサービス」は、こうした当社の実績と充実したデータセンタ基盤を活かし、主に以下2点のサービスを提供するものです。

- ①電子入札機能、入札情報公開機能の提供
- ②セキュリティ対策、ヘルプデスク等の周辺サービス提供

なお、当サービスには国内トップシェアの電子入札コアシステム（注1）を採用しています。

（注1）電子入札コアシステム：JACIC、SCOPEが開発・販売する公共発注機関向け電子入札システム。2005年11月時点で国内トップシェア（当社調べ。JACIC：財団法人日本建設情報総合センター、SCOPE：財団法人港湾空港建設技術サービスセンター）

1. 「電子入札 ASP サービス」の特長

(1) 独自の電子入札 Web サイトとして運用可能

発注機関名称、発注者名、ロゴなどが利用団体・機関ごとに変更可能なため、各機関 Web サイトとのリンク接続により独自の電子入札 Web サイトとしてサービス可能です。

(2) 既存業務システムとの連携

案件情報（起工情報）、業者選定情報など、各機関既存業務システムからのアップロード機能（取込）、開札結果情報などのダウンロード機能（取出）により、担当職員に運用負荷を掛けることなく電子入札、入札情報公開が可能です。

(3) 高いセキュリティと安定性の提供

ASP サービスの基盤環境として、ファイアウォール、IDS、アンチウイルス、SSL といったセキュリティ機能を完備しているため、様々なインターネット上の脅威に不安を感じることなく利用可能です。また、ASP 基盤環境は ISMS 認証（注2）を取得した国内最高水準の安全対応設備を持つデータセンタに設置し、常時自動監視システムで稼働管理を行い、安定したサービスを提供いたします。

（注2）ISMS 認証：「情報セキュリティマネジメントシステム」。システム及び情報の取り扱いの適切な管理が行なわれる場合に認証される。ISO（国際標準化機構）標準規格準拠。

(4) 専用ヘルプデスクによるきめ細かな問い合わせ対応

電子入札システムを始めとする数多くの業務システム対応ヘルプデスクの経験と、専用設備を活かし受注者・発注者からの問い合わせにきめ細かに対応

2. サービス内容

●電子入札システム

電子入札対応ベースシステム※1	電子入札コアシステム V4.0 (JACIC、SCOPEが開発・販売している公共発注機関向け電子入札システム)	
利用可能入札方式※2	工事	一般競争入札、公募型指名競争入札、 工事希望型指名競争入札、指名競争入札 随意契約
	委託	公募型競争入札、標準プロポーザル、公募型プロポーザル、 指名競争入札、随意契約
	物品	一般競争入札、指名競争入札、随意契約
主な追加機能※3	業者マスタアップロード更新機能 調達案件データ・指名業者データアップロード機能 開札結果データダウンロード保存機能 発注機関名称・代表者・ロゴ可変表示機能 案件別予定価格事前登録・表示機能 一般競争事後審査機能 電子くじ機能	
対応電子証明書※4	電子入札コアシステム対応民間電子認証局発行の電子証明書 LGPKI（地方公共団体組織認証基盤）の電子証明書	

●入札情報公開システム

入札情報公開対応ベースシステム	e-CYDEEN／調達情報提供	
主な機能※5	●発注見通し公開機能 ●発注図書配布機能 ●契約結果公開機能 ●項目別公開有無設定機能	●発注情報公開機能 ●入札結果公開機能 ●お知らせ公開機能

※1: 電子入札コアシステムは、各発注機関にて財団法人日本建設情報総合センター(JACIC)と、利用件数清算型の利用兼使用許諾契約を締結頂くか、もしくは購入頂いたうえで弊社に使用権を貸与頂く必要があります。

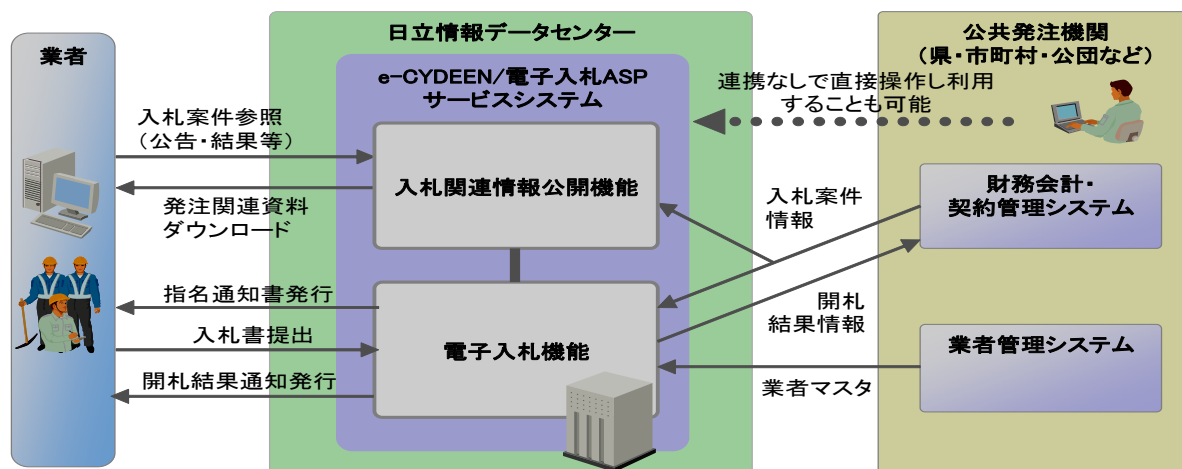
※2: 対応入札方式は随時拡張予定です。

※3: 電子入札コアシステムに対し追加した機能です。(上記以外にも便利な機能を準備中)

※4: 電子証明書(ICカード・ICカードリーダー)は各発注機関で購入・セットアップ頂く必要があります。

※5: 入札情報公開システムは電子入札システムとのデータ連携と発注見通し情報、発注情報、契約結果情報のアップロード機能を標準機能として提供します。

3. 「電子入札 ASP サービス」のシステムイメージ図



4. 販売価格、販売目標、販売対象

(1) 販売価格：

- ・初期導入費（DB 構築、環境設定、データ移行など）：100 万円から
- ・システム利用料

工事入札： 1 件あたり 1 万 2 千円

物品入札(小額除く)： 1 件あたり 1 万 2 千円

小額物品入札： 1 件あたり 5 千円

(2) 販売目標：5 年間で 200 団体、10 億円の売上（累計）を計画

(3) 販売対象：全国の県・市町村及び官公庁・外郭団体

5. 問い合わせ先

【お客さまからの問い合わせ先】

商品問い合わせセンター FainDesk（ファインデスク）

TEL 0120-346-401（フリーダイヤル）受付時間 9：00～18：00（土・日・祝日は除く）

e-mail faindesk.p@hitachi.joho.com

【報道機関からの問い合わせ先】

CSR 本部 広報部 広報・IR グループ 松林、杉山

〒141-8672 東京都品川区大崎 1-2-1

TEL 03-5435-5002（ダイヤルイン） e-mail press@hitachijoho.com

※記載されている会社名・商品名は、各社の商標または登録商標です。

以上

「電子入札 ASP サービス」の詳細な説明は、以下の Web サイトで公開しております。

http://www.hitachijoho.com/solution/cydeen/nyusatu_asp.html